

2025年1月6日

社長年頭挨拶

日本生命保険相互会社
社長 清水 博

日本生命保険相互会社（社長 清水博）は、年頭挨拶として、社長から全役員・職員に向け、メッセージを送りました。メッセージの要旨は以下のとおりです。

2025年のスタートにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、能登半島地震や台風・大雨等、全国各地で多くの自然災害に見舞われました。被害に遭われた方々へお見舞いを申しあげるとともに、復興に向けたご尽力やお客様対応をいただいている皆様に、心より感謝を申し上げます。

今年度スタートした中期経営計画では、「生命保険を中心に様々な安心を提供する“安心の多面体”」に成ることを目指しています。それに向け、サステナビリティ経営の推進と日本生命グループならではの社会的価値拡大・創造に強く拘るという想いを込めて、「期待を超える安心を、より多くのお客様へ。」をテーマとし、お客様本位の業務運営を根幹に、それぞれの部門が懸命に取り組みを進めてくれました。皆さん全員の不断の取り組みと努力に、心から感謝いたします。

2025年のグループのさらなる発展に向けて、4点申し上げます。

1点目は、残り3カ月、今年度の目標達成に最後まで拘り抜くことです。

2点目は、さらなる安心の多面化です。日本生命グループは「安心の多面体」を目指しますが、その中心はあくまでも生命保険事業であり、営業職員チャネルです。営業職員チャネルが成長し続けるべく、様々な変革に向けた取り組みをもう一段加速してください。同時に、安心の多面体を構成する、アセットマネジメント・ヘルスケア・介護・保育等、それぞれの「面」の拡大も重要です。全ての部門・事業領域が中期経営計画に沿った取り組みを一層推進しつつ、グループ一丸となって取り組んでください。今の日本生命グループには、部門連携・グループ連携の風土が確実に根づいています。「多面体」の中心である生命保険と、それを取り巻く「面」とが相互に連携を取っていくことで、より強く、より大きな「多面体」になっていきます。こうした連携の風土を強みとして、大きな「多面体」を作っていくことが、日本生命グループならではの「期待を超える安心」の提供につながっていくと信じています。

3点目は、全ての取り組みの根幹である、サステナビリティ経営とお客様本位の業務運営についてです。サステナビリティ経営とは、社会課題の解決を日本生命の成長・発展につなげていくことです。「誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会」の実現を目指して、お客様と社会の未来を支える取り組みを一層推進していきます。同時に、これからもお客様の期待に応え続けるためには、世の中のニーズや価値観の変容を捉えながら、お客様本位の業務運営への意識をさらに高めていくことが大切です。

4点目は、「人は力、人が全て」ということです。日本生命グループのさらなる発展を成し遂げるには、日本生命の7万人とグループ全体の18万人が力を合わせる事が不可欠です。日本生命グループにおいては、「人」こそが価値創造の源泉です。これからも、人材への積極的・継続的な投資を通じて、より働きやすい環境作りに取り組み、皆さん一人ひとりの活動を強力にサポートしていきます。

日本生命グループの未来は一人ひとりによって作られていきます。引き続き、皆さんの力で明るい希望に満ちた日本生命グループを作っていきましょう。

以上